

(表示は、題名：著者名、●号数、開始ページ数)

特集

【1月号】HTLV-1 と母乳育児

- HTLV-1 とは？一助産師が知っておくべき知識と日本の現状：板橋家頭夫，①，10
- HTLV-1 抗体検査の理解：齋藤滋，①，17
- HTLV-1 母子感染予防と母乳育児：水野克己，①，22
- HTLV-1 キャリア女性の心理的葛藤と必要なフォロー：柘植薫，①，27
- HTLV-1 母子感染予防に関する意思決定支援—栄養方法の選択を中心に：有森直子，①，32
- 短期母乳栄養を選択した女性への断乳支援：水野紀子，①，37

【2月号】帝王切開のお産をケアしよう

- 帝王切開—最新の知識と取り巻く状況を概観する：竹内正人，②，98
- 帝王切開で産んだ女性の気持ちと医療者に望むこと：細田恭子，②，104
- 「帝王切開出産の母親学級」の取り組み—満足できる帝王切開出産を目指して：坪根敦子・山田由香里，②，109
- 帝王切開の早期母子接触：島袋史，②，114
- 「お産を家族にかえす」当院での取り組み—帝王切開も尊い出産の1つ：白岩八千代，②，119
- 帝王切開をしたお母さんの退院後のニーズと助産ケア：横手直美，②，124

【3月号】助産ケアって、やっぱりすごい！

- 助産所の助産ケアの力を「妊娠リスクスコア」から探る：土屋清志，③，192
- 【座談会】助産ケアって、やっぱりすごい！—妊産婦と家族を支える助産ケアの重要性を語る：松本弘子・荒井英恵・望月由香，③，198
- 院内助産システムの確立—助産師の自立した助産ケアについて：佐藤良枝・千田順子，③，204
- 豊かな出産体験をもたらす助産ケア 再考—出産体験の量的・質的調査による見解：市川きみえ，③，

210

- 医師が助産院を訪ねたら—産科医師による矢島助産院訪問記：谷垣伸治，③，214
- 助産院と小児科クリニックの融合：桑原勲・谷口利絵，③，218
- 新生児科医師が見た、助産師のケア：北島博之，③，222

【4月号】多胎の支援—妊娠中から育児まで

- 多胎妊娠の医学的知識と多胎家庭の現状に沿った支援：大木秀一，④，290
- 多胎妊娠の経過—保健指導で伝えたいことを中心に：服部律子，④，296
- 母親の立場から語る—多胎妊娠・出産・育児に必要な支援：天羽千恵子，④，302
- ピアサポーターとつくる多胎育児準備クラス：佐藤喜美子・太田ひろみ・佐々木裕子・鈴木朋子・林啓子，④，306
- 産科病棟における双胎妊婦の支援：加藤愛・田中佳子・西川八重子・平岡淳子，④，310
- 多胎育児に役立つ！—古武術の体の使いかたに学ぶだっこのワザ：岡田慎一郎，④，315

【5月号】科学的根拠からみなおす助産技術

- 【妊婦健診の手技】1. 子宮底長の計測：進純郎，⑤，390
- 【妊婦健診の手技】2. 妊娠中の浮腫とその対応：進純郎，⑤，393
- 【妊婦健診の手技】3. レオポルド触診法：進純郎，⑤，396
- 【分娩時の手技】4. マックロバーツ手技とその有用性：進純郎，⑤，398
- 【分娩時の手技】5. クリステレル子宮底圧迫法：進純郎，⑤，400
- 【分娩時の手技】6. 分娩時のバルサルバ手技：進純郎，⑤，402
- 【緊急時の手技】7. 子宮双手圧迫法：進純郎，⑤，404
- 【緊急時の手技】8. ショック時の体位と保温：進

純郎, ⑤, 407

●【緊急時の手技】9. ショックインデックスとバイタルサイン：進純郎, ⑤, 410

●エビデンス・ギャップ, 感じていますか? : 堀内成子, ⑤, 413

●【座談会】科学と自然を尊重した助産実践へ向けて：進純郎・岡本喜代子・野町寧都, ⑤, 416

【6月号】母乳不足と補足を考える

●新生児の生理と代謝の知識：滝元宏, ⑥, 480

●補足の医学的適応：中村和恵, ⑥, 485

●補足基準の作成と実際—日本赤十字社医療センターの場合：坂上とし子, ⑥, 492

●母乳不足感と本当の母乳不足：入部博子, ⑥, 496

●補足をする理由—現場の困難感を探る：田中奈美, ⑥, 502

●乳児を守る環境と対策について「母乳代用品のマーケティングに関する国際標準」から考える：三浦孝子, ⑥, 508

●補足を勧める家族への支援：黒澤かおり, ⑥, 513

【7月号】タッチケアの新たな時代

●タッチケア——触れ合うことの大切さ：井村真澄, ⑦, 570

●赤ちゃんと母親・父親・祖父祖母のタッチケア効果のエビデンス：三石知左子, ⑦, 575

●タッチケアと赤ちゃんの行動観察：大城昌平・内海加奈子・大竹洋子, ⑦, 579

●タッチケアと親子相互作用と赤ちゃん—もつと遊んで／いやいやのサイン——NCAST の観点から：矢郷哲志・廣瀬たい子, ⑦, 584

●タッチケアの具体的方法と留意点：渡辺香織, ⑦, 590

●タッチケアとベースオイル：林真一郎, ⑦, 596

●院内におけるタッチケアクラスの展開：黒川寿美江, ⑦, 600

●保育施設等におけるタッチケアの広がり：吉永陽一郎, ⑦, 604

【8月号】知っておきたい、新生児・乳児のこころ・病気の不安から母乳育児の疑問まで

●最新の皮膚科学に基づいた湿疹のケア：馬場直子, ⑧, 668

●母親を悩ます赤ちゃんの便秘：金子淳子, ⑧, 674

●発熱時の対応と受診のタイミング：佐々木寛, ⑧,

680

●予防接種の基礎知識と最新情報：片岡正, ⑧, 683

●母乳育児の悩みに寄り添うアドバイス：水野克己, ⑧, 688

●よりよい2週間健診のために—母親の期待に応える：西巻滋, ⑧, 694

【9月号】お父さんの「父親力」を高める

●男性が「父親」になるには何が必要か：石井クンツ昌子, ⑨, 768

●父親の子育て参加が母子にもたらすもの：菅原ますみ, ⑨, 775

●妊娠・出産からの父親のかかわり—その意義と支援方法：汐見稔幸, ⑨, 782

●周産期に導入したい「コペアレンティング」という考え方：吉沢豊予子, ⑨, 786

●【父親に対する実践的アプローチ①】「第1子を迎える夫婦が互いに期待する役割調整プログラム」の紹介：松永佳子, ⑨, 791

●【父親に対する実践的アプローチ②】父親目線で語る父親のニーズと「伝わる」保健指導の方法：渡辺大地, ⑨, 796

【10月号】コミュニケーション術をみがいて、いいお産をめざす

●【座談会】現場のコミュニケーションはどうとって? : 加藤美佳・永森久美子・岩切美穂子・浦山絵里, ⑩, 854

●いいお産につなげるために助産現場で大切にしたいコミュニケーション：浦山絵里, ⑩, 864

●助産学基礎教育とコミュニケーション—茨城県立医療大学助産学専攻科の場合：島田智織, ⑩, 870

●NICUでのコミュニケーションの実際：渡辺美紀, ⑩, 874

●お父さん同士のコミュニケーションをどのように育むか：青木将幸, ⑩, 878

【11月号】『産婦人科診療ガイドライン—産科編2014』の改訂ポイント解説

●今回の改訂ポイントの概要：水上尚典, ⑪, 948

●妊婦・授乳中の母親へのインフルエンザワクチン, 抗インフルエンザウイルス薬投与についてのポイント：飯塚美徳, ⑪, 953

●妊娠高血圧腎症(Preeclampsia: PE)の診断と取り扱い：山田崇弘・水上尚典, ⑪, 956

●吸引・鉗子分娩の適応と要約について：牧野康男, ⑪, 962

- 子宮収縮薬使用についての改訂ポイント：水上尚典，⑪，968
- 分娩誘発の方法とその注意点は？：板倉敦夫，⑪，972

●胎児心拍数陣痛図の評価法とその対応：葛西路・高橋恒男，⑪，978

【12月号】キャリアを積むということー助産師としての私の働き方

- 【総論】助産師としてのキャリアを開発する：猿田了子，⑫，1046
- 【私のキャリアを振り返る】看護管理者として妊産婦を支える：井本寛子，⑫，1052
- 【私のキャリアを振り返る】研究者・教育者として助産師を追求する：福澤(岸)利江子，⑫，1056
- 【私のキャリアを振り返る】開業助産師として妊産婦を支える：野間田真紀子，⑫，1061
- 【私のキャリアを振り返る】世界の助産の臨床・政策へ還元できることを研究：大田えりか，⑫，1064
- 【私のキャリアを振り返る】新しい助産ケアを拓き，女性を支える：小笹由香，⑫，1068
- 【私のキャリアを振り返る】職能団体を統括する：坂本すが，⑫，1072

Interview

- 「女性だけ」ではない「男性が変わる」少子化対策を目指して一内閣官房参与・慶應義塾大学医学部産婦人科教授 吉村泰典氏インタビュー：河合蘭，①，42

対談

- 『遊廓の産院から——産婆 50 年，昭和を生き抜いて』を読む：井上理津子・葛西圭子，③，228

Close Up

- みずまき助産院 ひだまりの家：宮崎雅子，⑧，714
- 愛知県新人助産師合同研修：藤村礼美・高口みさき・村瀬裕子，⑫，1088

Current Focus

- 日本人女性の骨盤は変化してきているのか？一骨盤形態に関する研究の道のり：鳴本敬一郎・杉村基，②，132
- 早産に関連する社会経済的因子の最新知見：塩崎

有宏・齋藤滋，⑤，426

- HPV(子宮頸がん予防)ワクチンの是非：川名敬，⑪，994

世界のお産紀行

- ロンドンのバースセンター勤務助産師へのインタビューと博物館見学から思うこと：平出美栄子，⑩，882
- 英国バースセンター訪問記：山名香奈美・神谷摂子・上野文枝・松岡悦子，⑫，1094

実践レポート

- パートナーからの暴力に対するスクリーニングは女性の QOL 改善につながらない？—スクリーニング陽性者の声から，病棟における DV ケア面接の意義を探る：長坂桂子・梅田優美・迫佐和香・堀井泉・米澤梢・片岡弥恵子，④，326
- 見た！ 感じた！ 国会議員の働く現場—助産師の思いを国政につなげていくために：横山文子・新野由子，⑥，520
- 『すてきなグランマ・グランパガイドブック』ができるまで：棚木めぐみ，⑦，610
- 参加型ワークショップ「ワールド・カフェ」から得られたもの：松原まなみ・菱川和江・西本サチ子・田中啓子・大牟田智子・澁谷貴子・仲道由紀・吉田静・阿部聖子・浜崎ヨシ子・平田伸子，⑧，700

研究・調査

- 助産師が認識した自己の現状と課題・未来像—ワールド・カフェ形式ワークショップ後の KPT 法を用いた振り返りから：仲道由紀・川口弥恵子・吉田静・松原まなみ，⑨，808
- 初産・経産婦における妊娠週数と周産期リスクの関係：足達淑子・雪野清・小竹久美子・山脇真智・足達教・久保田俊郎，⑩，890

TOPICS

- 震災からの学びを活かす宮城県の取り組み 第一報—助産師を対象とした ALSO 研修：佐藤喜根子，②，138
- 震災からの学びを活かす宮城県の取り組み 第二報—母子支援に携わる人のための心理支援研修：佐藤喜根子，③，234
- 温故知産——REBORN 20 周年記念イベントを開催しました：三宅はつえ，③，236

●「健やか親子 21 全国大会」が山形市で開催—地域の力を活かした子育て支援など議論：編集室，③，266

●日本で唯一の産婆の神様を祀った神社で行なわれる—「母子と助産師の日」記念イベント：編集室，③，268

●震災からの学びを活かす宮城県の取り組み 第三報—地域における協働活動「たまごひよこサロン」について：坂田あゆみ・佐藤喜根子，④，366

●第1回日本周産期精神保健研究会レポート：宮崎雅子，④，368

●「NPO 法人 SIDS 家族の会」20 周年記念の集い：田上克男，⑤，442

●震災からの学びを活かす宮城県の取り組み 第四報—石巻市での母乳育児支援のための研修会実施報告：坂田あゆみ・佐藤喜根子，⑤，444

●第6回ヴァーチャル国際助産師の日レポート—Virtual International Day of the Midwife (VIDM)：高橋ゴールドマン浩美，⑦，621

●第28回日本助産学会学術集会レポート：編集室，⑦，624

●コクラン日本支部設立：編集室，⑧，706

●胎児異常による人工妊娠中絶 その語られざる世界—『誰も知らないわたしたちのこと』作者シモナー・スバラコさん講演会：河合蘭，⑧，720

●第1回日本 CNS 看護学会レポート：編集室，⑧，722

●ホテルで行なう産後ケア「さくら・サローネ」の内覧会に参加して：みつひひろみ，⑨，806

●平成26年度全国助産師交流集会レポート—「クリニカルラダーレベルⅢ認証制度」の詳細が発表される：編集室，⑩，888

●第45回日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会レポート：編集室，⑪，1017

●第2回母子救護所設営訓練レポート：編集室，⑫，1100

講演録

●母性を導くオキシトシンホルモン(前編)—ジャスティン・ウヴェネース・モベリさん，④，320

●母性を導くオキシトシンホルモン(後編)—ジャスティン・ウヴェネース・モベリさん，⑤，432

特別記事

【11月号】ICM プラハ大会 2014 レポート [前編]

●ICM プラハ大会の学術委員として3年間活動して—華やかな世界大会の舞台裏：大石時子，⑪，984

●ICM プラハ大会での座長の経験—たくさんの人々に支えられて：横手直美，⑪，989

●世界の助産師が知識を「共有」する場に参加して：米澤かおり，⑪，992

【12月号】ICM プラハ大会 2014 レポート [後編]

●世界中の助産師とともに：今成麻子，⑫，1078

●世界の助産師とかがわって—よいお産にける思いは万国共通：山口真紀，⑫，1080

●ICM プラハ大会での施設見学：高室典子，⑫，1083

この本、いかがですか？

●『「時間がない」から、なんでもできる！ 時間密度を上げる33の考え方』：高室典子，③，271

●『ナイチンゲール伝 図説 看護覚え書とともに』：福澤(岸)利江子，⑥，519

●『妊婦健診に一步差がつく 産科超音波検査』：小笹幸子，⑦，609

●『妊娠・出産・産後をケアする 妊婦マッサージ』：大石時子，⑫，1076

いのちをつなぐひとたち

●(25)佐々木かをりさん：畑中郁名子，①，1

●(26)大日向雅美さん：畑中郁名子，②，89

●(27)水戸川真由美さん：畑中郁名子，③，183

●(28)菅原ますみさん：畑中郁名子，④，281

●(29)桑原 勲さん：畑中郁名子，⑤，381

●(30)堀江 敦子さん：畑中郁名子，⑥，471

●(31)掃部まゆさん&小川久貴子さん：生島典子，⑦，561

●(32)茨木 保さん：畑中郁名子，⑧，659

●(33)滝村 雅晴さん：畑中郁名子，⑨，759

●(34)多田 正見さん：生島典子，⑩，845

●(35)高野 優さん：畑中郁名子，⑪，939

●(36)小酒部さやかさん：生島典子，⑫，1037

いのちのささやき

：宮崎雅子

●(37)太陽のように笑う，①，5

●(38)妊婦エアロビのじかん，②，93

●(39)天地創造，③，187

- (40) E Ala E, ④, 285
- (41) ふたりのブランコ, ⑤, 385
- (42) 花水木, ⑥, 475
- (43) サンルームの癒し, ⑦, 565
- (44) ぼくらの地球, ⑧, 663
- (45) 退院おめでとう, ⑨, 763
- (46) 優しいタッチ, ⑩, 849
- (47) 山の棚田でコンサート, ⑪, 943
- (48) Glace & Peace, ⑫, 1041

りれー随筆

- (349) 出張開業 6 年目を迎えて思うこと：秋屋伸子, ①, 84
- (350) 振り返ってみると 22 年：松井久乃, ②, 180
- (351) 天の指令を受けた助産師職：勝原則子, ③, 276
- (352) すべての子どもの明日のために：松田志帆, ④, 376
- (353) 心に残る 3 人の「おかあさん」：小島光華, ⑤, 466
- (354) これからの道：深町京子, ⑥, 556
- (355) 出会いと別れを大切に：東野純子, ⑦, 656
- (356) 同僚、妊産婦との協働を目指して：峰博子, ⑧, 756
- (357) 出会いは大切に：伊藤友子, ⑨, 842
- (358) 多様性を認め合う助産師でありたい：谷垣律子, ⑩, 934
- (359) カナダで助産師資格取得をめざす：大谷明希, ⑪, 1034
- (360) 背中を押された言葉は「夢と勇気」：橋本真理, ⑫, 1132

バルナバクリニック発 ぶつぷつ通信

- (116) 確実に避妊するためには, ①, 86 : 富田江里子
- (117) 障がいと人々の生命観, ③, 278
- (118) 安心して産める場所を傷つける悪い噂, ④, 378
- (119) 貧しい人々の静かなお産, ⑤, 468
- (120) 貧困と子どもの病, ⑥, 558
- (121) 台風で変わってしまった人生(前編), ⑦, 654
- (122) 台風で変わってしまった人生(後編), ⑧,

754

- (123) 日本での講演活動(前編), ⑩, 936
- (124) 2 人の産婦の分娩介助, ⑪, 1032
- (125) 親の犠牲になる子どもたち, ⑫, 1130

災害時の母子保健 妊産婦を守る助産師の役割

- (12) 妊産婦を守るための平時からの備え, ①, 72 : 吉田穂波
- (13) いざというときの安心リソース, ②, 166
- (14) 必ず成功する災害時の妊産婦支援マニュアル—東日本大震災の経験から, ③, 252

周産期の生命倫理をめぐる旅 あたにかいい心を求めて

- (13) 出生前診断のもたらす倫理的問題(Ⅲ), ①, 68 : 仁志田博司
- (14) 生殖医療をめぐる倫理的問題(Ⅰ), ②, 162
- (15) 生殖医療をめぐる倫理的問題(Ⅱ), ③, 240
- (16) 生殖医療をめぐる倫理的問題(Ⅲ), ④, 352
- (17) 生殖医療をめぐる倫理的問題(Ⅳ), ⑤, 454
- (18) 生殖医療をめぐる倫理的問題(Ⅴ), ⑥, 546
- (19) 遺伝子をめぐる生命倫理(Ⅰ), ⑦, 630
- (20) 遺伝子をめぐる生命倫理(Ⅱ), ⑧, 730
- (21) 生と死をめぐる生命倫理：死生学(Bio-Thanatology)(Ⅰ), ⑨, 836
- (22) 生と死をめぐる生命倫理：死生学(Bio-Thanatology)(Ⅱ), ⑩, 928
- (23) 周産期医療と脳死をめぐる生命倫理(Ⅰ), ⑪, 1008
- (24) 周産期医療と脳死をめぐる生命倫理(Ⅱ), ⑫, 1122

助産よもやも話

- (10) 待つということ, ①, 79 : 進 純郎
- (11) 高血圧とナトリウム—塩分制限は必要, ②, 173
- (12) 陣痛の発来と体内時計, ③, 257
- (13) 赤ちゃんと常在菌 その 1, ④, 357
- (14) 赤ちゃんと常在菌 その 2, ⑤, 451
- (15) 赤ちゃんはなぜなめるのか?, ⑥, 543
- (16) 1980 年代一産科・助産の百花繚乱の時代, ⑦, 643
- (17) 妊娠と冷え, ⑧, 740
- (18) 抱っこで育児—21 世紀は母性輝く時代, ⑨, 825
- (19) 会陰保護は必要でしょうか?, ⑩, 918

- (20) 会陰裂傷が生じた時の対応はどうすべきでしょうか？, ⑩, 1023
- (21) お産とは何だろう？－人類の進化の歴史とお産のパラダイム, ⑫, 1114

NY のバースセンターから

- (1) 甘く見ていた！ NY 留学, ①, 47 : 穴戸あき
- (2) Registered Nurse として働く, ②, 131
- (3) 職場でのカルチャーショック, ③, 227
- (4) 助産師の資格を取るために大学院へ, ④, 341
- (5) Certified Nurse Midwife として就職する, ⑤, 425
- (6) バースセンターでの勤務開始, ⑥, 555
- (7) Birthing Center での入院から退院まで, ⑦, 653
- (8) アメリカの医療制度, ⑧, 749
- (9) 出産をささえる人々, ⑨, 841
- (10) 妊婦の体重管理と超巨大児, ⑩, 933
- (11) 日本との違いを感じる時, ⑪, 1027
- (12) NY を離れても, ⑫, 1113

裁判例から読み解き, 臨床に活かす ゆりかご法律相談

- (1) 助産師の分娩監視義務について, ①, 48 : 友納理緒
- (2) うつぶせ寝による窒息死の責任あり!?, ②, 152
- (3) 出生前診断をめぐる問題－羊水検査の結果を逆に伝えた事例をきっかけに考える, ③, 244
- (4) 保健師助産師看護師法を学ぶ！－助産師に関する規定をみてみよう, ④, 346
- (5) 助産師の妊婦に対する指示に関する裁判例, ⑤, 462
- (6) カンガルーケアに関する裁判例, ⑥, 536
- (7) 刑事事件について学ぶ－助産師がかかわった事件を参考に, ⑦, 640
- (8) 出生後の児に対する一助産師の経過観察義務違反, ⑧, 744
- (9) 新生児の取り違え事件について考える, ⑩, 904
- (10) 助産師の証拠改ざんの法的責任－看護師が偽証罪に問われた事例をもとに考える, ⑪, 1002
- (11) 帝王切開歴のある妊婦の経膈分娩について－福島 VBAC 訴訟をもとに考える, ⑫, 1102

コクランレビューに学ぶ 助産ケアのエビデンス

- (1) コクランレビューの概要と助産 : 大田えりか
師が読む意義：森臨太郎, ①, 54
- (2) 分娩時の女性への継続的サポートはどんな効果があるの？, ②, 158
- (3) 助産師による継続ケアって、助産師以外のケアモデルと比べてどんな効果があるの？, ③, 248
- (4) 正常産の新生児では、臍帯結紮するタイミングで母子のアウトカムに違いが出るか？, ④, 342
- (5) 分娩時の連続的な胎児心拍数陣痛計 (CTG) によるモニタリングと、陣痛間歇時の児心音聴取で、母子のアウトカムに違いが出るか？, ⑤, 458
- (6) 陣痛の緩和にはどの介入が効果があるのか？, ⑥, 550
- (7) 正常産と過期産の正常妊娠への分娩誘発では、アウトカムに違いが出るか？, ⑦, 626
- (8) 早産の前期破水時の抗生剤内服はどのような効果や影響があるか？, ⑧, 750
- (9) マンモグラフィーによる乳がんスクリーニングは乳がんの死亡率を下げるのに有効か, ⑨, 832
- (10) 産後のダイエットに有効なのは食事または運動、それとも両方？, ⑩, 898
- (11) 妊婦に対するパートナーからの暴力を予防する、または減らすために効果のある介入は？, ⑪, 1018
- (12) 妊娠中から産後 6 か月までの電話サポートによるケアは効果があるか？, ⑫, 1118

学生さん・新人さんのための 国試に学ぶ, 助産師の基礎

- (1) 骨産道のアセスメント, ①, 336 : 片岡優華・一瀬いつ子
- (2) 回旋異常のアセスメント (1), ⑤, 446
- (3) 回旋異常のアセスメント (2), ⑥, 526
- (4) 分娩経過のアセスメント, ⑦, 646
- (5) 胎児心拍数モニタリングの判定 (1), ⑧, 724
- (6) 胎児心拍数モニタリングの判定 (2), ⑨, 818
- (7) 生殖に関するホルモン, ⑩, 911
- (8) 月経の機序と異常, ⑪, 1011
- (9) 排卵障害の診断と治療, ⑫, 1108

短期連載 REBORN の歩みを振り返る 産む人と医療者をつないだ 20 年間

- (1) REBORN 立ち上げから『産院リスト』発行まで：河合蘭・中根直子, ⑦, 616
- (2) 紙とウェブを使った活動の広がり：三好菜穂

子・齋藤麻紀子・三宅はつえ，⑧，708

●(3)当事者活動としての REBORN：きくちさかえ・
水戸川真由美，⑨，802

やっぱり知りたい少子化のはなし

●(1)本当に子どもが増える政策は何か？
：河合 蘭
—松田茂樹氏インタビュー，①，58

●(2)産める国・産めない国—それぞれが歩んできた歴史の違い—阿藤誠氏インタビュー，②，146

●(3)少子化対策は親の声を聞いてきたのだろうか？，③，260

●(4)少子化対策 私たちはこう考える—インターネット調査に寄せられた 584 人の声を読む，④，360